

2023年度

海外総合実習 報告書



北海学園大学経営学部

Contents

Part One. 海外総合実習

1. 経営学部海外総合実習の概要	2
2. 事前学習スケジュール (2023年度)	3
3. 実地研修スケジュール (2023年度)	3
4. ハワイの紹介	4
5. ハワイ大学の紹介	6
6. NICEプログラム	8
7. 課外活動	10
8. 日本企業訪問1 プリプレス・センター	12
9. 日本企業訪問2 アレフ	14
10. 海外企業訪問1 Obun Hawaii	16
11. 海外企業訪問2 Rainbow Drive-In	18
12. ホームステイ	20
13. ハワイ滞在中の生活	22
14. 観光について	24
15. 総括	26

Part Two. 北海学園大学経営学部の英語

1. 北海経営English (Hokkai Business English : HBE)	28
2. 英語教員紹介	29
3. 英語演習 (内藤ゼミ)	30
4. 英語演習 (浦野ゼミ)	31

Part One. 海外総合実習

経営学部海外総合実習の概要

北海学園大学経営学部では、北海経営 English (Hokkai Business English : HBE) と称して「ビジネスで使える英語」力を身につけるためのカリキュラムを展開してきました。学部1・2年次科目の総合実践英語と3年次科目のビジネス英語では、実践的な英語力を磨くための授業を展開していますが、そういった科目で学修した内容と相乗効果を高めるためのプログラムのひとつに「海外総合実習」があります。

海外総合実習では、経営学部独自の総合実践英語で培った英語の基礎力を踏まえて、英語が使用されている海外の現場に実際に足を運び、「英語が通じた!」という体験をしてもらいます。海外での対話を成功させるためには、日本人として話すコンテンツを持ち合わせていることが鍵となります。この実習では、海外企業のマネージャークラスのビジネス・パーソンと対話するという明確な目標を掲げ、その目標に向かって十分な準備を

してから海外へと飛び立ちます。

海外総合実習は、日本（北海道）と米国（ハワイ州）の企業および業界研究を題材として、英語力の育成だけでなく、経営学の専門知識の涵養と実務的なコミュニケーション能力の習得を目指したプログラムです。英語教員と経営学の専門教員が協働することで、ハワイでの語学研修前に、業界・企業分析のスキルを学び、日本の企業を訪問し、その内容をレポート、プレゼンテーション資料としてまとめあげます。ハワイ大学マノア校（ホノルル市）での語学研修中には、研修先の語学学校およびハワイ大学の学生との交流を通じて英語でのコミュニケーションを体験し、企業を訪問することで海外の企業文化に触れ、また、現地のビジネス・パーソンの前で研修前の成果を実際にプレゼンし、意見交換をすることで、英語を実際に使う、また通じるという実体験を積むことを目標とします。

事前学習スケジュール(2023年度)

4月	オリエンテーション 英語課題開始 ハワイの地理・歴史・文化 企業分析および業界分析の方法
5月	日本の産業に関する調査 北海道の企業に関する調査 産業と企業に関するレポートの作成
6月	企業訪問1(プリプレス・センター) 企業訪問2(アレフ) プレゼンテーション準備
7月	プレゼンテーション準備 出発前の留意点の確認
8月	プレゼンテーション準備 旅行会社によるオリエンテーション

実地研修スケジュール(2023年度)

第1週	8月27日(日) 出国。ホノルル空港到着後ホストファミリーと対面。 8月28日(月) ハワイ大学にてプレースメントテストとオリエンテーション 8月29日(火) 英語授業開始 8月30日(水) Interchange(ハワイ大学学生との交流) 8月31日(木) 企業訪問1(Obun Hawaii)
第2週	英語授業 9月05日(火) 企業訪問2(Rainbow Drive-In)、Interchange 9月07日(木) Interchange
第3週	英語授業 9月12日(火) フラ・ワークショップ 9月13日(水) Interchange 9月15日(金) 修了式 9月16日(土) ホストファミリーとのお別れ。ホノルル空港より米国出国。
	9月17日(日) 日本帰国。羽田空港経由で新千歳空港到着。

ハワイの紹介

経営学科2年 中元優衣

ハワイ基本情報

私たちが3週間過ごしたハワイは、アメリカ合衆国50番目の州です。ハワイ州は、私たちが過ごしたオアフ島の他、ハワイ島、マウイ島、カウアイ島、ラナイ島、モロカイ島、カホオラウェ島、ニイハウ島の8つの島と124の小島から成り立っていて、日本との時差はマイナス19時間です。年間平均気温は25℃から29℃の常夏の島であり、湿度は低めです。私たちは8月末から9月中旬にかけてハワイに滞在しましたが、最高気温は30℃近くあったにもかかわらず、湿度が比較的良かったため快適に過ごすことができました。また、ハワイはスコールが多く、外を歩いていたら突然雨が降ってくるのが何度もありました。スコールの後は虹を見ることができます。

ハワイの公用語は英語とハワイ語ですが、ハワイ語は現在あまり使われていないそうです。日系人が多く、またホノルルなどの観光地は時々日本語表記もありますが、めったに日本語は通じません。そのため、基本的にコミュニケーションでは英語を用いる必要があります。ハワイの州花は黄色のハイビスカスです。黄色に限らず、ハワイでは歩いているだけで、道端でたくさんのハ

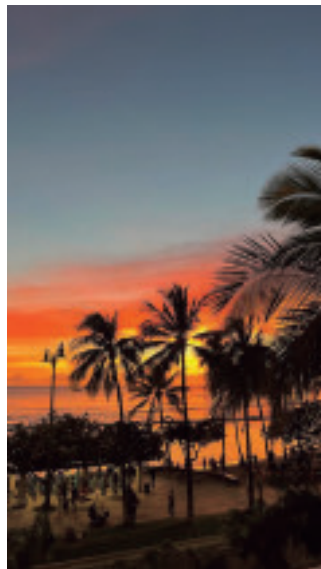
イビスカスを見ることができます。

ハワイの伝統

ハワイの伝統的な踊りであるフラは、文字をもたないハワイの人々が神への信仰の表現や体験、出来事を後世に伝える手段として大切なものでした。ハワイアン・ミュージックに合わせてゆったり踊るフラは今では非常に有名で人気を誇っていますが、18世紀後半にキリスト教の宣教師によってフラが迫害され始め、54年間の間フラを踊ることが禁止になったという歴史があります。私たちもハワイ大学のNICEプログラムの中でフラを踊る体験をしました。NICEプログラムの授業ではハワイ語の学習もしました。Aloha（日本語：こんにちは）、Mahalo（ありがとう）、Ono（美味しい）、Ohana（家族）、Pau（終了）など、日常でも使用できるハワイ語がたくさんあります。また、レイという花でつくられた首飾りや、ハワイの男性の正装の一つであるアロハシャツなどのハワイの伝統品もお土産屋で気軽に買うことができます。

ハワイでは、挨拶の際や写真を撮る際のピースの代わりにシャカサインをします。シャカサインは相手に甲を向け、親指と小指を立てて振るポーズのことを指します。シャカサインは、「こんにちは」、「さようなら」、「ありがとう」といった意味を持っています。ハワイに滞在中は、ピースではなくシャカサインをして写真を撮りました。

ハワイのローカルフードとして、味のついたサーモンやマグロの丼であるpokeや、ご飯の上に目玉焼きとハンバーグが豪快にのったロコモコ、ニンニクがたっぷりきいたエビ料理であるガーリックシュリンプ、揚げたてのもちもちのパンに砂糖をまぶしたマラサダなどが挙げられます。また、パイナップルやマンゴー、ココナッツ、パパイヤ、グアバなどたくさんのフルーツも食べることができます。



Introduction of Hawaii

Yui Nakamoto

Basic Information of Hawaii

Hawaii, where we spent three weeks, is the 50th state of the United States. The state comprises nine islands (Oahu, Hawaii, Maui, Kauai, Lanai, Molokai, Kahoolawe, and Niihau) and 124 smaller islands. The time difference from Japan is minus 19 hours. It is an island of everlasting summer with an average annual temperature of 25°C to 29°C and low humidity. We stayed on Oahu in Hawaii from the end of August to mid-September, and the high temperature was nearly 30°C. Although the relatively low humidity makes our life comfortable, squalls are common in Hawaii. Suddenly, it started raining many times when we walked outside. After the squalls, we could see rainbows.

The official languages of Hawaii are English and Hawaiian, but Hawaiian is not widely spoken at present. There are many Japanese-Americans in Hawaii, so there are sometimes Japanese signs in tourist areas in Honolulu. However, Japanese is rarely spoken in Hawaii. Therefore, English is the basic language of communication in Hawaii. The state flower of Hawaii is the yellow hibiscus. Not only yellow, but you can also see many colors of hibiscus on the roadside as we walk around in Hawaii.

Traditions of Hawaii

The hula, a traditional Hawaiian dance, was an important means. That's because it was a means for the non-literate Hawaiian people to pass down the expression of their faith in God, their experiences, and events to future generations. Although the hula is now very famous and popular, it was banned for 54 years. That's because Christian missionaries began persecuting hula dancers in the late 18th century. We also had the opportunity to experience hula dancing during the NICE program at the



University of Hawaii. Furthermore, in this program, we learned Hawaiian words such as Aloha (English: hello), Mahalo (English: thank you), Ono (English: delicious), Ohana (English: family), Pau (English: end), and many other Hawaiian words that can be used in everyday life. You can also easily buy traditional Hawaiian items at souvenir shops, such as leis, which are necklaces made of flowers, and aloha shirts, which are one of the formal attires for Hawaiian men.

In Hawaii, the shaka sign is used in place of the piece when greeting or taking pictures. The shaka sign is a pose in which the person faces the other person with his or her instep, holds up the thumb and pinky finger, and waves them. The shaka sign can mean "hello," "good-bye," or "thank you." During my stay in Hawaii, I took pictures with the shaka sign instead of the peace sign!

I enjoyed some local food in Hawaii. First, it is poke, a bowl of seasoned salmon or tuna. Next is loco moco, a fried egg and hamburger steak served on a bed of rice. Garlic shrimp is a shrimp dish with lots of garlic. Finally, Malasada is a freshly fried sticky bun dusted with sugar. Also, You can also enjoy pineapples, mangoes, coconuts, papayas, guavas, and many other fruits.



ハワイ大学の紹介

経営情報学科 2年 干場麻由

ハワイ大学マノア校

今回私たちが通ったハワイ大学マノア校は、1907年に創立され、世界140の国と地域から約18,000名の学生が通っています。中でもマノア校は10拠点存在するハワイ大学のうち本校という位置付けになっています。ハワイ大学では物理学や天文学、海洋生物学といった、他の大学ではあまり見られないハワイの特徴を生かした学術分野が高い評価を得ています。私が実際にハワイ大学の学生と話した際、私が日本の大学で経営学を専攻していると話すとともに驚かれることが多かったのが印象に残っています。

今回私たちが参加したNICEプログラムでは、初日にキャンパスツアーが開催されましたが、全ての建物を見て回ることができないほどの広大な敷地が広がっていました。キャンパス内には、スポーツジムやカフェ、それにケネディシアターという劇場など様々な施設があります。マノア校は自然が豊かで、キャンパスセンター前の広場には大きな木が植えられていました。学生は木の下でベンチで談笑し、日によってはそこでチョコやスナックなどの軽食が配られていました。また、学生たちが古着やアクセサリなどを持ち寄ってミニマーケットを開

催していました。また、ハワイ大学内のショップでは「University of Hawaii」の頭文字をとった「UH」のロゴがついたパーカーやTシャツなどのグッズがたくさん売られていました。NICEプログラムに参加した学生だけではなく、現地の学生もUHのグッズを身につけて登校している様子が多く見られました。

大学内の雰囲気

ハワイ大学マノア校はとても開放的な空間であり、学生たちはキャンパス内のベンチで勉強したり中庭でピクニックをしたりと各々が自由に時間を過ごしていました。その他にも大学内にあるジムに行く人やヨガをしている人達もいて、ハワイならではの時間の過ごし方だと感じました。お昼時にはカフェテリアやトラック式のカフェであるフードトラックに長蛇の列ができており、多くの学生で賑わっていました。ハワイ大学のキャンパスは学生以外にも訪れることができるため、犬の散歩をしている人や、ハワイ大学のグッズを買いに来る観光客なども多く見かけました。また、大学内をキックボードやスケートボードで移動する学生がとても多く、日本ではあまり見られない光景がとても新鮮でした。

NICEプログラムではそれぞれがクラスに分かれて授業を受けるのですが、私のクラスではハワイ大学の学生に質問する課題がありました。質問をする際にどの学生も快く受け入れてくれて、ハワイの人々の優しさを感じました。授業で声をかけた学生の多くがその後キャンパス内ですれ違った時に声をかけてくれたのがとても嬉しかったです。また、授業を通して仲良くなったハワイ大学の学生と後日一緒に出かけることもできて素敵な思い出になりました。



Introduction to the University of Hawaii

Mayu Hoshiba

University of Hawaii at Manoa

The University of Hawaii at Manoa, which we attended this time, was founded in 1907 and has approximately 18,000 students from 140 countries and regions around the world. The University of Hawaii at Manoa is the main campus of the University of Hawaii, which has ten campuses. The University of Hawaii has a high reputation for academic disciplines such as physics, astronomy, and marine biology, which are unique to Hawaii and not often found at other universities. When I talked with students at the University of Hawaii, I was very impressed and surprised when I told them that I majored in business administration at a Japanese university.

The NICE program we participated in this time offered a campus tour on the first day of the program, but the campus was so vast that we could not see all the buildings. The campus has a gym, a café, and a theater called the Kennedy Theater. The Manoa campus is rich in nature, and a large tree was planted in the plaza in front of the campus center. Students enjoyed chatting on benches under the trees, and depending on the day, chocolate, snacks, and other refreshments were distributed there. There was also a mini-market where students brought their old clothes and accessories. In addition, many hoodies, T-shirts, and other goods with the “UH” logo were sold at a store inside the University of Hawaii. Not only students who participated in the NICE program but also many local students were seen wearing UH goods to school.

The Atmosphere at the University

The University of Hawaii at Manoa is a very open space, so students spend their free time

studying on campus benches or having picnics in the courtyard. Some students went to the gym, and others did yoga, which I felt was a unique way to spend time in Hawaii. At lunchtime, the cafeteria and food trucks were crowded with students, and there were long lines at the cafeteria and truck-style cafes. Since the University of Hawaii campus is open to visitors other than students, I saw many people walking their dogs and tourists shopping for University of Hawaii merchandise. I also saw many students riding kickboards and skateboards around the campus, a sight rarely seen in Japan, and it was very refreshing.

In the NICE program, each student was divided into some classes, and my class had an assignment to ask students at the University of Hawaii questions. When I asked questions, all of the students were very willing to help me, and I felt the kindness of the people of Hawaii. I was very happy that many students I talked to in the class approached me afterward when we passed each other on campus. I also went out with students from the University of Hawaii, who I became friends with through the class later on, which was a wonderful memory.



NICE プログラム

経営学科3年 佐々木希空

NICE について

私たちはハワイ大学マノア校で、New Intensive Courses in English (NICE) の提供する 3-Week NICE Program という英語学習プログラムに3週間参加しました。このプログラムは、英語でのコミュニケーション、文化、コミュニティに焦点を当てています。私たちはハワイの文化に触れながら、実践的なコミュニケーションを通じて英語を学習しました。

プログラムの初日は、オリエンテーションとキャンパスツアーが行われました。キャンパスツアーでは、ハワイ大学の学生にキャンパス内を案内していただきました。キャンパスの広さにとても驚いたと同時に、3週間このキャンパスで英語を学べることにとても胸が高鳴りました。また、クラス分けを行うためのスピーキングテストも同日に行われました。NICE プログラムでは5段階のレベルでクラスが振り分けられます。スピーキングテストでは、NICE プログラムの先生と一対一で英語で会話をしました。最初は緊張しましたが、楽しみながら先生とコミュニケーションをとることができました。NICE プログラムには、日本各地の様々な大学から約150名が参加していました。英語を通じて多くの大学生との交流を深めることができたのは、私たちにとってとても良い経験になりました。また、クラスメイトたちと仲良くなることができ、とても楽しい留学生活を送ることができました。

授業について

NICE の授業は平日の12時半から16時半に行われました。授業内容はクラスによって異なっていましたが、オーラルコミュニケーションに焦点を当てて授業が展開されました。授業では、ペアワークやロールプレイの他、リーディングやライティングの学習、ハワイ語の学習も行いました。授業中は英語で話さなければいけないため、自然と英語でのコミュニケーション能力を向上させることができました。また、クラスメイトはみんな英語が上手で、毎日とてもよい刺激を受けました。授業のプログラムの中には、週2回 Interchange というハワイ大学の学生と英語で交流する機会がありました。Interchange を通じて、ハワイ大学に在籍する学生の日常生活やハワイの文化について知ることができ、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。最終週には、英語でのプレゼンテーションをクラスで行いました。プレゼンテーションでは、ハワイで身につけた英語力を発揮することができました。プログラムの最終日には、graduation party と呼ばれる卒業パーティーが行われました。私たちはクラスメイトのみんなと美味しいランチビュッフェを楽しみました。また、先生よりハワイ大学の修了証明書を授与していただきました。ハワイ大学で英語を学ぶことに最初はとても不安を感じていましたが、素敵な先生やクラスメイトのおかげで充実した3週間を過ごすことができました。



NICE Program

Noa Sasaki

About NICE

We participated in an English program called the 3-week NICE program at the University of Hawaii at Manoa. This program focuses on English communication, culture, and community. We learned English through practical communication while experiencing Hawaiian culture.

The first day of the program included an orientation and campus tour. During the campus tour, students from the University of Hawaii showed us around the campus. I was very surprised by the size of the campus, and at the same time, I was very excited to be able to study English on this campus for three weeks. Also, a speaking test was held on the same day to determine class placement. In the NICE program, classes are divided into five levels. For the speaking test, I had a one-on-one conversation in English with a teacher from the NICE program. I was nervous at first, but I was able to enjoy and communicate with the teachers. About 150 people from various universities across Japan participated in the NICE program. It was a great experience for us to be able to deepen our relationships with many university students through English. In addition, I was able to make friends with my classmates and had a very enjoyable study-abroad experience.



About Classes

Classes of NICE were held on weekdays from 12:30 pm to 4:30 pm. The content of the lessons varied depending on the class, but the lessons focused on oral communication. The class also included pair work, role play, reading and writing, and learning the Hawaiian language. I must speak in English during class, so I was able to naturally improve my communication skills in English. Also, all my classmates spoke good English, and I was very inspired every day.

As part of the class program, I had the opportunity to interact with University of Hawaii students in English twice a week during a program called Interchange. Through Interchange, I was able to learn about the daily lives of students enrolled at the University of Hawaii and the culture of Hawaii, and I had a very fun and meaningful time.

In the final week, we gave a presentation in English to the class. During the presentation, I was able to demonstrate the English skills I had acquired in Hawaii. On the last day of the program, a graduation party was held. We enjoyed a delicious lunch buffet with all of our classmates. Also, the teacher presented us with a certificate of completion from the University of Hawaii. At first, I was very nervous about studying English at the University of Hawaii, but thanks to my wonderful teachers and classmates, I was able to spend a fulfilling three weeks there.



課外活動

経営情報学科3年 石黒未来

金曜日のエデュケーショナルアクティビティ

NICEでは、プログラムの都合上毎週金曜日に授業が行われない代わりとして「エデュケーショナルアクティビティ」という大学外で行われる活動を行いました。クラスごとに決められた場所に行き、水族館や遊園地、田植え体験や山登りなどそれぞれの活動を楽しみました。私のクラスでは、1週目の金曜日にはアラモアナショッピングセンターに行き、与えられた複数のショッピングセンター内での課題をグループごとに解決する活動を行いました。ショッピングセンター内で行われているフラダンスのステージを見ることができたり、クラス内での友人と仲良くなれたり、とても有意義な時間になりました。

2週目の金曜日は、「マドレチョコレートフォレージツアー」というツアーに参加しました。ツアーのタイトルに「チョコレート」という単語が入っているためチョコレートに関するツアーなのかと思うかもしれませんが、全くそうではありません。このツアーは、植物の専門家に植物についてのお話を伺いながら、広いハワイ大学内を探索するというものでした。ハワイ大学内の様々な植物や木、雑草などについて詳しく教えてくださり、最後には大学内の様々な雑草を集めたサラダにチョコレートドレッシングをかけていただきました。正直美味しくはなかったのですが、今までに無い初めての貴重な経験ができました。

土曜日のオプションアクティビティ

土曜日には、希望者のみが参加するアクティビティが用意されていました。1週目の土曜日は、毎週土曜の8時から12時まで限定で開催されているカカアコファーマーズマーケットという、食べ物やアート、雑貨などの様々なお店が出店している人気の市場に行くものでした。私のホー



ムステイ先からは比較的遠い場所にあったので、朝早起きをしてマーケットに向かいました。そこは演奏を楽しんでいる人や、ショッピングをしに来た人でとても賑わっていました。私自身もハワイらしい雑貨や美味しい食べ物を食べ、初めてココナッツジュースも飲むことができ大満足でした。

2週目の土曜日は、ハワイの中でも特に有名なパールハーバー（真珠湾）に行くアクティビティでした。私はその日体調が優れず、大事を取って参加を断念してしまいましたが、後で参加したルームメイトから写真を見せてもらいました。参加したルームメイトたちは、「日本やアメリカに関しての歴史あるものを沢山見ることができて色々考えさせられた」と言っており、とても羨ましく思いました。

初めてのフラダンス体験

加えて私達は、授業でプロの講師からフラダンスを学びました。私はこのフラダンスの授業を受ける前は、そこまでこの授業を楽しみにしていませんでした。しかし、フラダンスを実際に踊ってみると私が想像していた何倍も楽しく、ハワイを感じさせる振付や掛け声を覚え、あっという間に2時間踊り倒してしまいました。加えて、実際に体験し、しなやかに踊ることが難しかったです。最後に数人ずつステージでフラダンスを披露もし、この授業をきっかけにクラスメイトとの仲も一層深まりました！

この3週間の様々なアクティビティを通じて、より濃い学校生活を過ごすことができました。



Extracurricular Activities

Miku Ishiguro

Friday Educational Activities

At NICE, classes were not held every Friday due to program constraints, and instead, we held an activity called “Educational Activities” outside the university. Each class went to a designated location and enjoyed their own activities, such as an aquarium, an amusement park, a rice planting experience, and mountain climbing. In my class, we went to the Ala Moana Shopping Center on the first Friday of the first week and worked in groups to work on quests within multiple shopping centers. It was a very meaningful time for me because I was able to see the hula dance stage being held in the shopping center and get on with my classmates.

On Friday of the second week, we participated in a tour called “Madre Chocolate Forage Tour.” Since the tour title has the word “chocolate” in it, you might think it’s a tour about chocolate, but that’s not the case at all. On this tour, we explored the large campus of the University of Hawaii while listening to stories about plants from a plant expert. He gave us detailed information about the various plants, trees, and weeds found within the University of Hawaii, and at the end, we enjoyed a salad made with various weeds found within the university and drizzled with chocolate dressing. To be honest, it wasn’t delicious, but it was a valuable experience that I had never had before.

Saturday Optional Activities

On Saturday, there were activities available for those

who wanted to participate. On the first Saturday of the first week, we went to the Kakaako Farmers Market, which is held every Saturday from 8:00 to 12:00 and is a popular market with a variety of food, art, and miscellaneous goods stalls. Since it was relatively far from my homestay, I woke up early in the morning and headed to the market. The place was very crowded, with people enjoying the music and people coming to shop. I myself was very satisfied as I ate Hawaiian miscellaneous and delicious food and even drank coconut juice for the first time.

On Saturday of the second week, we went to Pearl Harbor, one of the most famous harbors in Hawaii. I wasn’t feeling well that day and decided to give up on taking part, but my roommate, who had also taken part, later showed me a photo. My roommates who participated said, “We got to see a lot of historical things about Japan and America, and it made us think about a lot of things,” and I was so jealous of them.

First Hula Dance Experience

In addition, we learned hula dancing from a professional instructor in class. Before taking this hula dance class, I wasn’t looking forward to it that much. However, when I actually danced the hula dance, it was much more fun than I had imagined. I learned the choreography and chants that made me think about Hawaii, and I ended up dancing for two hours in no time. So, I had thought that it could have been difficult to actually experience and dance flexibly. However, in the end, a few of us performed a hula dance on stage, and through this class, we became even closer with our classmates! Through various activities over the past three weeks, I was able to enjoy a richer school life.



日本企業訪問 1

プリプレス・センター

経営学科 2年 伊藤悠

はじめに

私たちの生活には新聞や雑誌など紙媒体が大量に存在しています。しかしながら印刷業と聞くとあまりなじみがなく、実際具体的にはどのようなことをしているのかわかりませんでした。そのため私たちは印刷業とは何かという基本的な情報から調べました。その中で、現在の印刷業界はペーパーレス化や技術者不足などの影響により、業界全体として良い傾向ではないということがわかりました。このことから、企業がどのようにして課題解決に取り組んでいるのか、また業界が暗い中どのような新しいことに挑戦しているのかということに焦点を当てました。

技術者不足や環境問題の解決

実際にプリプレスセンターを訪問して、課題解決に非常に優れている企業であると感じました。まず、即戦力は難しいとしながらも新卒採用を毎年続けることで技術者不足を解消しています。入社後の育成にも力を入れ、技術の伝承を行っています。さらに、定年後の技術者をフレキシブルな労働環境で雇うことにより、人員の増加だけでなく技術の継承や若者の育成も狙っています。このような雇用により人員不足と技術の継承問題を解決しています。

プリプレス・センターでは、昨今の環境意識の高まりというトレンドにも敏感に対応しています。印刷業では日々大量の印刷用紙を消費します。一方でプリプレス・センターでは、紙を消費するだけでなく、森を生産する

支援を行う「年賀の森プロジェクト」を行っています。このプロジェクトでは、北海道美幌町にて2008年より10年以上にわたり継続的な植林を実施しています。この植林活動によりプリプレス・センターの事業活動で排出するCO₂の70%相当を相殺しています。そのほかにも主に雇用や環境保全についてのSDGsに取り組んでおり、企業の社会的責任を果たしています。

WEB 事業

ペーパーレス化が進みこれまで通りの事業内容だけでは厳しい中、プリプレス・センターでは現在WEBデザインやシステム開発も手掛けています。これは、機械で印刷物を刷るという印刷業界への大方のイメージとは異なります。しかしながら、印刷会社では元来お客様にデザインの提案を行うのも重要な仕事であり、目を引くような広告や利便性の追求など、紙媒体で培った知識や技術をWEBデザインやシステム開発に応用することができています。現在これらの事業は業績を支える重要な部門となっています。

おわりに

今回の企業訪問では、工場内で実際の製造過程を見学させていただき、社長さんからも直接お話をさせていただけるなど非常に有意義なものでした。将来的に紙媒体の需要がゼロになることはないと思いますが、年々減少が続く中でSDGsやWEB関連の事業などにプリプレス・センターは早期から取り組んでおり、トレンドを読む力が非常に重要なのだと感じました。この有意義な訪問はハワイでのプレゼンテーションにおいても十分に生かされたと思います。



Prepress Center

Yu Ito

In our daily lives, we are surrounded by a large amount of paper media, such as newspapers and magazines. However, the printing industry is not so familiar to us, and we did not know what it actually did. Therefore, we started our research with basic information about what the printing industry was. In the process, we learned that the current printing industry was not in a good trend due to the paperless society and the shortage of technicians. Given this, we focused on how companies were working to solve these issues and what new challenges they were taking on during a bleak industry.

Solving the Shortage of Engineers and Environmental Problems

After visiting the Prepress Center, I found it to be a company that was very good at solving problems. First, the company solved the shortage of engineers by continuing to hire new graduates every year, even though immediate employment was difficult. The company also focused on training its employees after they joined the company and passing on their skills to the next generation. Furthermore, by hiring retired engineers in a flexible working environment, they aimed not only to increase their workforce but also to pass on skills and train young people. This type of employment solves the problems of personnel shortages and technical succession.

The Prepress Center is also sensitive to the recent trend of increased environmental awareness. The printing industry, in general, consumes large quantities of printing paper daily. On the other hand, the Prepress Center not only consumes paper but also supports the production of forests through its “Nenga-no-mori Project.” In this project, we have been continuously planting trees in Bihoro Town, Hokkaido, for more than ten years since 2008. This tree-planting activity has

offset the equivalent of 70% of CO₂ emitted by the Prepress Center’s business activities. In addition, they are also working on the SDGs, mainly in the areas of employment and environmental preservation, to fulfill their corporate social responsibility.

Web Business

With the paperless society, it is difficult to continue with the same business activities as before. This differs from most people’s image of the printing industry, which is based on the printing of printed materials by machine. However, it is also an important part of a printing company’s job to make design proposals to customers, and they are able to apply the knowledge and technology they have cultivated in the print media to web design and system development, such as eye-catching advertisements and the pursuit of convenience. These businesses are now important divisions that support their business performance.

Conclusion

This company visit was very meaningful, as we were able to observe the actual manufacturing process in the factory and heard directly from the president. I do not think that the demand for paper media will be zero in the future, but the Prepress Center has been working on SDGs and web-related projects from an early stage as the demand continues to decrease year by year, and I felt that the ability to read trends is extremely important. I believe that this meaningful visit was fully utilized in my presentation in Hawaii.



日本企業訪問 2

アレフ

経営学科 2年 青柳 怜治

アレフとは

今回訪問させていただいたアレフは北海道を拠点としている企業で、主にびっくりドンキーのレストラン経営などで知られている企業です。アレフでは、他にもえこりん村の運営や小樽ビールといったクラフトビール製造なども手掛けています。そして何よりもアレフは環境配慮にとっても気を使っている企業であり、環境配慮が経営の根幹になっている企業でもあります。

事前学習とテーマ設定

アレフを訪問させていただく前、私たちはびっくりドンキーの人気の理由やどのような顧客をターゲットにしているのかといったことをプレゼン内容にしようと考えていました。しかし実際訪問させていただいて、アレフの企業経営には環境への配慮が根幹にあるということがわかり、プレゼンの内容をもっと大きい枠で考えようと決めました。そして私たちは、SDGsに焦点を当てどのようにしたら飲食業界が貢献できるのか、実際にどのようにすればよいのかを提案するというのをテーマに決めました。今回のプレゼンでは、主にSDGs 10「人や国の不平等をなくそう」という目標、12「生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとろう」という目標に焦点を当てました。

SDGs 10 について

飲食業界が取れる可能な対策として、外国人の雇用と多様なメニューの提供を考えました。外国人の雇用をすることで顧客に対する言語による不平等をなくすことができ、また多様なメニューを提供することで文化や宗教などによる不平等を



なくすことが可能だと考えました。この二つの対策を実現するにはいろいろな問題点などがありそれに対する解決策なども私たちは考えました。

SDGs 12 について

SDGs 12はアレフの経営とも大きく関係があるため、アレフの行っている事業を参考にプレゼンを作成しました。具体的に取り上げた内容は、フードロスをいかに減らすことができるかというものです。参考にさせていただいたアレフの対策には、副菜も含めて完食することでご褒美をもらえる「もぐもぐチャレンジ」という子供の意識改革を目的としたものと、食べ残しを肥料や電力に変えるリサイクル方法がありました。リサイクルにはコスト面ですぐに取り組むことができるものではありませんが、もぐもぐチャレンジのような意識改革を目的とした取り組みはすぐにも行えると考えました。

プレゼンテーションの作成を終えて

今回のプレゼンテーションはチーム6人で長い期間をかけて作成しました。プレゼン内容を考えるためにいろいろな情報収集を行ったり、考え方の相違などで意見がぶつかったりなど様々な困難もありました。しかし、チームみんなで最後まで意見をぶつけ合い、最後には一つの形にすることができました。この貴重な体験は今後私たちにとって大きな価値になると思います。



Aleph

What is Aleph?

Aleph, the company we visited, is a Hokkaido-based company known mainly for its management of Bikkuri Donkey restaurants. Aleph also operates Ecorin Village and produces craft beer such as Otaru Beer. Above all, Aleph is a company that cares about the environment, and environmental considerations are at the core of its management.

Preliminary Study and Theme Setting

Before our visit to Aleph, we thought that our presentation would focus on the reasons for Bikkuri Donkey's popularity and the type of customers it targets. However, after our visit, we realized that environmental considerations are at the core of Aleph's corporate management, and we decided to focus our presentation on a bigger frame. We decided to focus on the SDGs, how the food and beverage industry can contribute to them, and how we can actually do so. In this presentation, we focused mainly on SDG 10, "Eliminate inequalities among people and countries," and SDG 12, "Producers and consumers should act responsibly to protect the earth's environment and people's health."

About SDG 10

As possible measures that the restaurant industry can take, they considered hiring foreigners and offering a diverse menu. By hiring foreigners, they could elimi-



nate inequality in terms of language among customers, and by offering a diverse menu, they could eliminate inequality in terms of culture, religion, and other factors. They also considered solutions to the various problems that would arise in achieving these two measures.

About SDG 12

Since SDG 12 is closely related to Aleph's management, they prepared their presentation with reference to Aleph's business activities. Specifically, they focused on how food loss can be reduced. Aleph's measures that they referred to included the "Mogmog Challenge." It aims to raise children's awareness by rewarding them for completing a meal, including side dishes, and a recycling method that converts leftover food into fertilizer and electricity. While recycling is not something that can be undertaken immediately due to cost, they thought that initiatives aimed at raising awareness, such as the Mogumogu Challenge, could be implemented immediately.

After creating the presentation

This presentation was created over a long period of time by the six members of the team. We had to gather a lot of information in order to come up with the content of the presentation, and we also faced various difficulties, such as conflicts of opinion due to differences in ideas and so on. However, the team members

were able to work together and share their opinions until the very end, and in the end, we were able to create a single form of presentation. I believe that this valuable experience will be of great value to us in the future.

海外企業訪問 1

Obun Hawaii

経営学科 2年 神成美咲

訪問先

私たちは、オープンハワイという印刷会社を訪問しました。オープンハワイは1970年に創立され、ホノルルの中でも比較的中心に位置するワイマヌ地区にオフィス構える会社です。訪問先では、ハワイの観光産業を盛り上げたいという一心から、様々な飲食店や観光パンフレットなどの制作に積極的に取り組んでいることを学びました。また、日本で事前調査として訪問したプリプレス・センターと業態は類似しており、工場見学では沢山の共通点を見つけることができました。日本から輸入した印刷機械などの紹介も受け、日本の技術がハワイの地まで流れ着いていることに喜びを感じました。

見学で得た知見

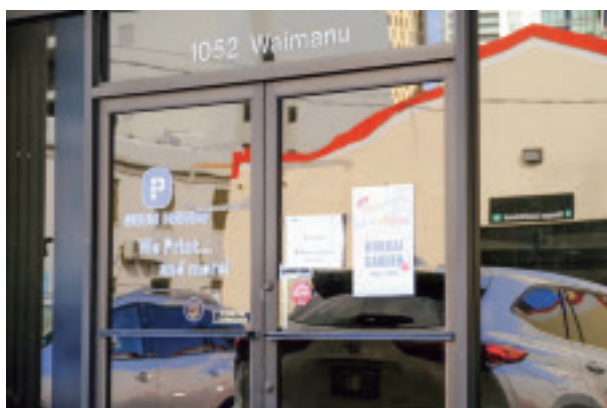
「ウェルカム！ホッカイ！」と書かれたポスターに歓迎され、少し緊張していた私たちは暖かい気持ちで社内に入りました。社内ではアロハシャツを着た社員の皆様が暖かく迎え入れてくださり、自己紹介を行った後、実際に印刷を行っている工場の中を見学させていただきました。工場見学中に強く感じたことは、「事前に調査した企業（プリプレス・センター）と似ているな」ということです。会社の規模はもちろんのこと、機械や印刷物の種類、地域に密着したものづくりを行っているという点に共通点を感じました。また印刷のみならず、企業向

けにWEBのデザインやコンセプトを提案するなど、広告のような仕事も行ってました。ペーパーレス化が進む現代だからこそ、印刷をする際には欠かせない「デザインを考える」という観点から紙を使わない広告の仕事も担い、売上を維持していることがわかりました。

プレゼンテーションを通して得た知見

今回は、「学生たちが考えるワクワクする印刷会社とは？」というテーマを掲げてプレゼンテーションの準備を進めました。私たちは事前学習の段階から、「印刷会社の良さとは何だろう？」という単純に感じる問いにとっても悩まされました。なぜなら、私たち学生には日常的にあまり馴染みのない職種だったからです。日常的に「あの会社の印刷は本当に上手だね」などと考えるタイミングは、普通に生活しているとまずありません。そこで、長い時間印刷業界の良さを絞るだけに時間をかけた私たちは、考えを大きく転換させました。「こんなに思い浮かばないのなら、どうすれば面白い仕事になるんだろう？」と。印刷の仕事を否定しているわけではありませんが、この世界には印刷の仕事よりも学生たちが憧れをもつ職種は他に沢山あると感じたからです。そこで私たちは、二つの提案をオープンハワイの皆様にさせて頂きました。学生である私たちの提案ですので、しっかり伝わるかは不安でしたが、プレゼンが終わると提案の意図などを質問して下さい、提案をして良かったなど

感じました。今回のプレゼンを通してわかったことは、思いがけない発想からプレゼンテーションは生み出せるということです。真面目にやらなくては、と型にとらわれずに思い付いたひらめきや発想を繋げ、またその一つ一つを深掘りすることで、自分が考えも付かなかった発想を生み出せるということに気づくことが出来ました。



Obun Hawaii

About Obun Hawaii

We had the opportunity to visit Obun Hawaii, a printing company located in the Waipahu district, which is central in Honolulu. Established in 1970, Obun Hawaii actively engages in various projects, including producing materials for tourism brochures, to boost Hawaii's tourism industry. Also, before going to Hawaii, we researched a similar business model in Japan, a pre-press center, and found striking similarities during our factory tour. We also received introductions about printing machines imported from Japan. I was glad to see the global influence of Japanese technology in Hawaii.

Knowledge from the Company Tour

Entering the premises, we were warmly welcomed by a poster that read, "Welcome! Hokkai!" Despite initial nervousness, we felt warmth from the employees wearing Aloha shirts. Following introductions, we were given the opportunity to tour the printing factory. What impressed me during the factory tour was the similarities to the company we had looked into in Japan (the pre-press center) before coming to Hawaii. Despite differences in scale, the types of machines, and the variety of printed materials, there were similarities, especially since I thought the most similar point was that they produce products closely tied to the local area.



Misaki Kannari

Additionally, the company prints and provides web design and concept proposals for businesses. It seems that increasing paperless in the world, so they maintain sales by working that does not use paper.

Knowledge from the Presentation

Our presentation focused on the theme, "What kind of business do students want to work for?" In other words, "Waku Waku" means exciting in Japanese. First, we are troubled with the simple question, "What is the good point of a printing company?" Because printing is an unfamiliar profession in our daily lives. For example, we don't say, "The printing company is so great!!". After spending considerable time attempting to pinpoint the strengths of the printing industry, we decided to shift our viewpoint: "How can we make the printing job interesting?" We then presented two proposals to Obun Hawaii. Though nervous about how well our ideas would be told as students, we felt relieved after the presentation and received questions and interest from the employees. Through this experience, I realized that presentations can come from unexpected ideas. Not relying on typical and conventional ideas, we expanded our inspiration and ideas and dug deep into theirs. So, we discovered the ability to generate unique concepts that we hadn't even considered initially.



海外企業訪問 2

Rainbow Drive-In

経営学科 2年 松田咲歩

訪問先

今回私たちは、レインボー・ドライブ・インを訪問させていただきました。レインボー・ドライブ・インは、ハワイで3店舗を構えているプレートランチ専門店です。創業当初からのモットーが、「リーズナブルな価格でボリュームのあるプレートランチを」というだけあり、ロコモコをはじめ、どのプレートも食べ応え抜群です。私たちが訪問した際にロコモコをサービスしていただきましたが、ボリューム満点で、ロコモコのほかにマカロニサラダまでついていて、とても満足することができました。

施設見学での学び

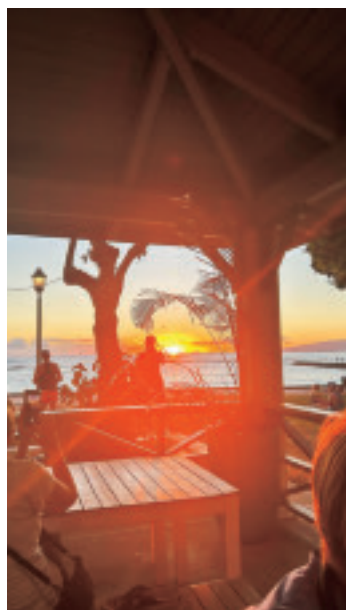
施設見学では、プレートランチが完成されるまでの製作ラインでどのように料理を提供しているのかなどを学び、さらに売店でレインボー・ドライブ・インのグッズを見させていただきました。特に印象的であったのが、厨房にはたくさんの副菜がすでに準備されていたことです。そもそもレインボー・ドライブ・インの品数はほか

のお店と比べても多いです。その中でも副菜も多くの種類があり、また3~4人という少人数で料理数とお客さんをさばっていることに驚きました。

プレゼンテーションを通しての学び

プレゼンテーションをするにあたって私たちが学んだことは、「伝え方」です。まず何を伝えたいのか、どのように伝えたら相手にわかりやすく伝わるのか、パワーポイントはどのようなデザインにしたら聞く側の目を引き飽きさせないかなど、たくさんのことを悩んでプレゼンを作っていました。一番悩み、チームのみんなと相談したのは、「何を伝えるか」です。「小さな伝えたいこと」はいくつか決まっていたのですが、とても重要な一番伝えたいことが上手くまとまっていませんでした。プレゼンを作る中でたくさん考え、たくさん時間を費やしました。準備に多くの時間を使ったおかげで、伝えるべきことはしっかりしたものになりました。

また、この過程で学んだことの中でも私がとても重要視してきたのは、原稿を読むときの伝え方です。長々と読むことによって聞き手を飽きさせてしまうなどの懸念点がありました。そこで私は、自分の原稿の中で伝えたい要点を出し、わかりやすい文章にすることや、発表の原稿を暗記し、話し方・伝え方をたくさん練習しました。プレゼンの数日前に原稿の変更を余儀なくされ、当日を迎えることに不安を持っていましたが、もともと練習していた成果が実り、上手に発表することができました。この機会を設けていただいたおかげで、自信がつき、成長することができました。レインボー・ドライブ・インのみなさん、ありがとうございました。



Rainbow Drive-In

Saho Matsuda

We had the pleasure of visiting Rainbow Drive-In, which was a plate lunch specialty restaurant with three branches in Hawaii. Their motto since inception, 'providing voluminous plate lunches at reasonable prices,' holds true as each plate, including the iconic Loco Moco, offers substantial satisfaction. We were served Loco Moco, which was generously portioned and accompanied by macaroni salad, leaving us thoroughly satisfied.

Insights from Facility Tour:

During the facility tour, we learned about the production line for crafting plate lunches and observed the array of Rainbow Drive-In merchandise at the store. Particularly impressive was the abundance of side dishes already prepared in the kitchen. The variety of dishes offered by Rainbow Drive-In sets them apart, and witnessing the efficiency of their small team in handling both cooking and serving was truly remarkable.

Learning through Presentation:

In preparing for the presentation, we focused on the art of communication. We deliberated on what to convey, how to make it understandable to our audience, and how to design PowerPoint slides to keep them engaged. Crafting the presentation was challenging, especially in determining the main message. In the beginning, we had a few details to convey, but the most important thing we wanted to tell them was not well organized. Through extensive deliberation and collaboration with the team, we refined our message, ensuring clarity and coherence.

One aspect I particularly emphasized was the delivery of the script. Concerned that lengthy reading might bore the audience, I highlighted key points in my script and memorized and practiced delivering it. Despite last-minute changes to the script a few days before the presentation, the preparation paid off, and I delivered the presentation effectively. Thanks to this opportunity, I gained confidence and experienced personal growth. Thank you to everyone at Rainbow Drive-In for this invaluable experience.



ホームステイ

経営学科2年 高橋奈々

ホストファミリーについて

私たちは、大久保ファミリーのもとでホームステイをしました。お母さん、お父さん、小学生の兄妹の4人家族で、数年前に日本からハワイへ移住してきたため、英語はネイティブほど喋れない！とお母さんから言われたことを覚えています。そうは言っても、兄妹は小学校に通っているので英語を流暢に喋り、お父さんとお母さんは仕事で英語を使うので、英語も日本語も話せるバイリンガル家族でした。家はカハラという町の丘の上にあります。最寄りのバス停まで25分ほど坂道を下らなければなりません。なだらかな道を歩くのではなく、急勾配を毎日25分歩くことは運動不足の私たちにはとても大変でした。最初は特に体力が無く、この坂をずっと登らなければならないのかと不安になりました。しかし毎日坂を登る中で、みんなでたわいのない話をしたり、音楽を聴いたりしてその時間を楽しめるようになりました。また、街灯が少ないため夜になると星や月が綺麗に見えたり、朝は坂の向こうに綺麗な海や空が見えたりと、素敵な景色も坂を歩くモチベーションになりました。さらに、ハワイにはゲッコー（ヤモリ）が道端にたくさんいて、初めはみんな悲鳴を上げていましたが、慣れると可愛いなという感情が芽生え、キャッチしようと試みたりもしていました。



ホームステイ先での生活

ホームステイ先での生活ですが、大久保ファミリーでは特にルールは無く、洗濯・料理は自由で、冷蔵庫の中のものや、部屋も自由に使わせてもらえました。他のホームステイ先ではルールが多くあり厳しいと聞いたので、私たちはラッキーだったと思います。ただ、帰ってくる時間や夕食の必要の有無、さらにその日の予定だけは毎日お互い把握するようにしていました。朝はホストファミリーの全員が仕事や学校があったため、私たちの方が遅く起床する日が多かったです。学校から帰宅すると、晩御飯ができるまで海外総合実習や語学学校の課題をやったり、子どもたちと全力で遊んだりしました。ご飯はお母さんとお父さん2人が作ってくれました。お父さんがレストランを経営していて、家庭とは思えないほどの美味しいご飯をたくさんいただきました。お母さんはヨガのインストラクターで、健康に気を使った、栄養満点で美味しいご飯を作ってくれました。ハワイではアルバイトがなかったため、日本にいるときよりも生活リズム・食・健康面で非常に整った暮らしをすることができたと思います。

ホームステイ先での思い出

最初はお互いとても緊張しましたが、初日からたくさん喋ったり、子供たちとバスケットをしたりするうちに、すぐに打ち解けることができました。日本人家族だったため、英語力の伸びはあまりないかなと考えていましたが、言い回しや日常会話を丁寧に教えてくれて、楽しく英語を学ぶことが出来ました。英語ではない分、日本語で心からたくさんお話しし、最終日には別れが辛く号泣しました。今でも、毎日写真を見返してしまうくらい大久保ファミリーのことが大好きで、一生忘れない大切な人たちです。

Homestay

Nana Takahashi

About the host family

We stayed with the Okubo family. They are a family of four: mother, father, and an elementary school brother and sister. Since they moved to Hawaii from Japan several years ago, they did not speak English like native English speakers! I remember my host mother telling me that she was not a native English speaker. That being said, their siblings spoke fluent English because they attended elementary school, and their host father and mother used English for work, so they were a bilingual family who spoke both English and Japanese. The house was on top of a hill in the town of Kahala, and we had to walk 25 minutes down the hill to the nearest bus stop. It was very difficult for us because we were not fit enough to walk down a steep slope for 25 minutes every day. At first, we were not particularly strong and worried that we would have to climb this hill all the way up. However, as we climbed the hill every day, we began to enjoy the time together, talking about a silly story and listening to music. Also, the beautiful scenery motivated us to walk up the hill, such as the stars and moon at night, because there are few streetlights and the beautiful ocean and sky beyond the hill in the morning. In addition, there are many geckos (geckos) on the roadsides in Hawaii, and although everyone screamed at first, once they got used to them, they developed a feeling of cuteness and even tried to catch them.

Life at the Homestay

There were no rules at Okubo family. We were free to do laundry and cook, and we were allowed to freely use the refrigerator and our room. We heard that other homestay families had many rules and were very strict, so I think we were lucky. However, we made sure that we knew each other's return time, whether we needed to have dinner or not, and also our schedule for the day. In the mornings, all of our host families had to work or go to school, so we often woke up after they went there. When we came home from school, we

did our assignments for the overseas comprehensive training and language school until dinner was ready or hung out with the children as much as we could. The host's mother and father cooked dinner for us. He runs a restaurant, and we had so many delicious meals that it was hard to believe it was home. In addition, she was a yoga instructor, and she cooked healthy, nutritious, and delicious meals. Since I did not have a part-time job in Hawaii, I think I was able to live a very well-organized life in terms of rhythm, food, and health compared to when I was in Japan.

Memories of My Homestay Family

At first, we were both very nervous, but after talking a lot and playing basketball with the kids on the first day, we were able to quickly get to know each other. Since we were a Japanese family, I thought my English skills would not improve much, but they carefully taught us phrases and daily conversation, and I was able to enjoy learning English. We talked a lot in Japanese from the bottom of our hearts instead of speaking English, and on the last day, we cried a lot because it was so hard to say goodbye. I still love the Okubo family so much that I look back at the pictures every day, and they are a very precious family that I will never forget.



ハワイ滞在中の生活

経営情報学科 2年 渡邊早咲

平日の午前

NICE プログラムの授業は午後のため、平日の午前は基本的にフリータイムです。私たちは出かける日もあれば、家で長めに睡眠を取ってから洗濯を行う日もありました。私たちの家では洗濯に関する家のルールが特になかったため、自由に予定を決めることが出来た点がよかったです。出かける日は、ランチでポケ丼をテイクアウトして大学で食べたり、朝早く起きてみんなでダイヤモンドヘッドに登りに行ったりしました。もちろん、早めに学校に行って、プレゼンの準備や学校の食堂を利用することもありました。午前中から活発に行動することで、その分充実した毎日を過ごせました。

平日の午後

平日の午後に授業があったので、それぞれの家からバスで毎日大学に通っていました。ホノルル市内はバスの路線がたくさんあることに加え、ホロカードという交通系ICカードにチャージするだけでバスに乗車できるので、とても便利です。学校終わりにバスに乗り、ワイキキ周辺でみんなでディナーを食べることも出来ました。ワイキキビーチの夕日を見ながら食べるディナーは美味しく、とても素敵でした。また、放課後に大学内のスタジアムでスポーツ観戦をすることもできます。私たちはバレーボールを見ました。吹奏楽団やチアリーダーも居て、日本とのスポーツ観戦の雰囲気の違いを感じることが出来ました。

休日

休日はまとまった時間が確保できるので、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。私たちは、ワ

イキキ周辺のお店やアラモアナショッピングセンターで買い物をして楽しみました。ワイキキ周辺にはたくさんのお店と美味しいものがあるので、一日中遊べます。特に、ハワイの高級チョコレート屋さん巡りが個人的には最高でした。さらに、ホノルルから少し離れた場所にあるアウトレットに行くと、ブランド品を安く買うこともできます。店員さんは全員親切で、日本語を話せる方も多く、快適なショッピングが出来ました。また、休日はビーチでしっかり遊ぶことも出来ます。私は、海に入って自然と触れあうことで、忙しい毎日のリフレッシュになりました。何もせず、ビーチでぼーっとする時間も最高だと思います。海のアクティビティも数多くあり、水面を自転車で移動できるアクティビティやサーフィンなどがあります。私たちは事前に予約して、日本人インストラクターのいるスキューバダイビングを経験しました。口呼吸は思ったより難しく、大変な思いをした瞬間もありましたが、非日常に触れることが出来て嬉しかったです。初めての体験にトライする良い機会にもなりました。ハワイ滞在中はしっかりと予定をたてたことによって、時間を持って余すことなく楽しめ、とても満足な日々を過ごせました。



Life in Hawaii

Saki Watanabe

Weekday Mornings

Because classes for the NICE program were in the afternoon, weekday mornings were free time. Some days, we would go out, while other days, we would stay home to have a long sleep and do laundry. We didn't have any specific house rules regarding laundry at our homestay, so we liked the fact that we were free to set our schedule. On the days we went out, we would take out poke-don for lunch and eat it at the university, or we would get up early in the morning and go climbing Diamond Head together. Of course, we sometimes went to school early to prepare for a presentation or to use the school cafeteria. By being active in the morning, we could have fulfilling days.

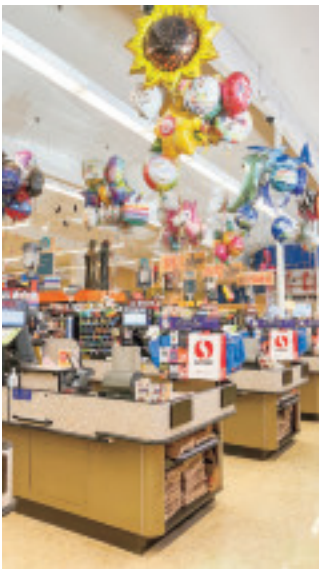
Weekday Afternoons

We had classes in the afternoon on weekdays, so we took the bus from our homestay's house to the university every day. You can take a bus just by charging your HOLO card or a transportation IC card. Moreover, there were many bus routes in Honolulu, so it was very convenient! We could take the bus after school and have dinner together around Waikiki. Eating din-

ner while watching the sunset on Waikiki Beach was very nice. You could also watch sports at the university stadium after school. We watched volleyball. There was a brass band and cheerleaders, and we could feel the difference in the atmosphere of watching sports in Japan.

Holiday

We were able to have a very productive time because we had enough time on holiday. We enjoyed shopping around Waikiki and at the Ala Moana Shopping Center. There were many stores and delicious foods around Waikiki that you could spend all day there. In particular, I liked visiting Hawaii's luxury chocolate shops. In addition, you could go to the outlets located away from Honolulu and buy brand items at a discount. All the shop staff were friendly and many of them could speak Japanese. So, I made for a pleasant shopping experience. You could also have a good time at the beach on your days off. For me, going swimming in the ocean and feeling the air of nature was a refreshing change from my busy day. I think that it was great to spend time doing nothing and just relaxing on the beach. There were many ocean activities available, such as biking on the water's surface and surfing. We booked scuba diving with a Japanese instructor in advance. Mouth breathing was more difficult than I expected, and there were moments when I had a hard time, but I was glad to feel the extraordinary. It was a good opportunity for me to try something new. By carefully planning my stay in Hawaii, I was able to enjoy my time there without having much time on my hands, and I was very satisfied.



観光について

経営学科2年 岡村康那

時間と計画

私たちはハワイで3週間の語学研修を行いました。授業がない時間帯にはハワイの街を観光もしました。せっかくリゾート地であるハワイに来たのだから、観光もしっかりと楽しみたいと思いました。それを実現するためには、時間やお金に関する事前の計画が大切だと感じました。

まず、私たちは平日の12:30-16:30にNICEプログラムの授業があり、どこかを観光できるのは授業の前後の時間か休日でした。ホストマザーからは、治安の問題もあるのであまり遅い時間まで出歩かないように言われていました。特に平日はまとまった時間が取れないため、時間の使い方が難しかったです。それでも、授業が始まるまでの時間に有名なお店を巡ったり、早朝にダイヤモンドヘッドに登ったりと、平日はなるべく遠くへ行かず時間を有効活用しながら最大限楽しむことができました。また、距離的に時間のかかるディズニーリゾート訪問や時間のかかるショッピングなどは、一日中時間を使える休日に行いました。行き当たりばったりではなく、メンバー間で事前に話し合いながら計画を立てることができたことも、うまく行動できた理由だと思います。このように、かなり気合を入れて少しでも多く回る必要があったので、家に帰ったらしゃべる元気も残って

いないぐらい疲れていた時も何度かありました。

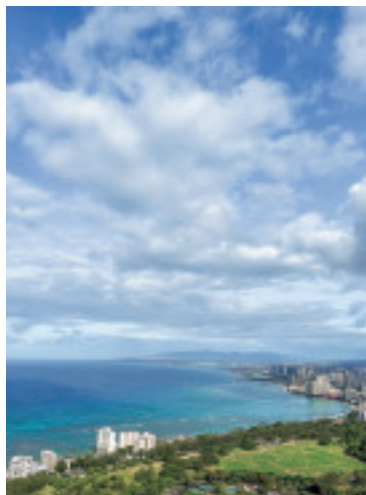
計画という点では、時間だけでなくお金も同じだと思います。どこかで物を買うにしても食べるにしても、日本円に換算すると驚くこともあります。当然ですが無制限に使うことはできません。しかし、国内旅行のように何回も行くことはできない場所だからこそ、誰しも心残りは作りたくないと思います。その中でここではお金を使う、ここでは使わないというように計画立てて決めることがとても大事だと感じました。

バスの時刻

ハワイでは、島の中に「The Bus」というバスが走っています。オアフ島の主な公共交通機関としてこのバスが利用されているのですが、バス時刻に対する考え方が日本とは大きく異なるように感じました。基本的にバスが定刻通りに来ることは珍しく、早着してもバス停で定刻まで待たずにそのまま発車してしまったり、遅延は当たり前だったり、日本のような正確さはありませんでした。その中で観光のスケジュールも立てなければいけないので、時間通りではないことを当たり前だと思って、時間に余裕をもって行動する必要があると思いました。

おわりに

3週間という短い期間でしたが、日本にいるときには考えなかったこと、日本での当たり前が通用しないということが多くありました。ハワイでの観光は、今思い返しても本当に良い思い出です。観光の時間は私たちにとっては多くの学びを与えてくれました。これからの残りの大学生活をより良いものにするために、計画を立てて行動すること、ギリギリの時間で行動しないことを意識していきたいと思います。



Sightseeing

Yasuna Okamura

Time and Plan

We did three weeks of language training in Hawaii. When we did not have classes, we also went sightseeing in the city of Honolulu. Since I had come all the way to Hawaii, a resort destination, I also wanted to enjoy sightseeing. In order to achieve this, I felt it was important to plan in advance regarding time and money.

First of all, we had NICE program classes from 12:30–16:30 on weekdays, and the only time we could sightsee anywhere was before or after classes or on holidays. My host mother told me not to go out too late because of security issues. Especially on weekdays, it was difficult for me to find time to spend with my family. Even so, I could enjoy myself to the fullest while making the most of my time by visiting famous stores before classes. I started climbing Diamond Head early in the morning and enjoyed myself by not going far during the weekdays as much as possible. In addition, visits to the Disney Resort and time-consuming shopping trips were conducted on holidays when we had all day to ourselves. I think the fact that we were able to make plans based on discussions among the members in advance, rather than just randomly, was one reason we acted successfully. In this way, I had to go around as much as possible with a lot of energy, and there were several times when I was so tired that I didn't even have any energy left to talk when I got home.

In terms of planning, I think it is the same with money and time. Whether you buy something or eat somewhere, you may be surprised when you convert it to Japanese yen. Of course, you cannot use money without limitation. However, because it is a place that cannot be visited as many times as a domestic trip, no one wants to leave a bad impression. I felt it was very important to plan and decide where to spend and where not.

The Bus schedule

In Hawaii, a bus service called “TheBus” runs throughout the islands. This bus is the main form of public transportation on the island of Oahu, but I felt that the way of thinking about the bus schedule differed greatly from that of Japan. Basically, it was rare for buses to arrive on time, and even if they arrived early, they would leave without waiting at the bus stop until the scheduled time, and delays were common. In this context, we had to schedule sightseeing, so we needed to take it for granted that the bus would not be on time.

Conclusion

Although it was only for a short period of three weeks, there were many things that I did not think about or took for granted in Japan. I have really good memories of sightseeing in Hawaii, even when I think back on it now. The sightseeing time was a great learning experience for us. In order to make the rest of our college life better, we will be conscious of making plans and not acting at the last minute.



総括

経営学科2年 中村莉子

異なる価値観に触れる

留学に参加して良かったことのひとつは、日本とは異なる価値観に触れることができたことです。ハワイ大学での私のクラスの担任の先生はとても自由な方で、お菓子や果物を食べながら授業したり、気分転換だと言って授業を外で行ったりしました。私はその自由さにとても驚きました。日本では、授業中に何か食べている学生がいたら怒られるに違いなく、ましてや先生が食べるなんでもってのほかだと思います。また、教室で授業をするのは退屈だからと、外で授業をする先生など見たことはありません。最初は、日本では考えられない先生の行動に理解を示せなかったのですが、見ているうちに、授業はちゃんと進んでいて、他のクラスに遅れを取っていないので、これは別に悪いことではないと思うようになりました。調べてみると、アメリカでは、授業中の飲食は許されていることが多いことがわかりました。また、アメリカは最近屋外で授業を行う学校が増えているようです。ある学校では、授業が急に食事パーティーに変更になり、またある学校では、森の中で、ハンモックに座りながら授業を行っているとのことでした。日本もこのくらい授業中に自由にできた方が、学校がより楽しいものになるかもしれないと思いました。また、学校に限ったことではなく、日本でもこのくらい自分の好きなように生きることができた方が、人生がより豊かになるのではないかと考えました。



自分に自信をつける

留学に参加して良かったことの二つ目は、自信をつけることができたことです。私は決して英語が得意なわけではなく、留学するにあたって自分の英語能力が通用するのかどうかとても不安でした。実際にハワイに着いても、最初は現地の人の英語がなかなか聞き取れず、また自分が伝えたいことを英語で上手く表現することができませんでした。そのため、とてももどかしく悔しい思いをしました。しかし、学校の先生やクラスメイト、そしてホストファミリーなどの現地の方々はみな、私のつたない英語に寄り添って会話をしてくださいました。そのおかげで不安が和らぎ、もっと流暢に会話ができるように頑張ろうと勇気を持つことができました。そこから、私は積極的に現地の方々との会話をするのを心がけました。沢山の方々と英語での会話をしているうちに、少しずつではありますが英語が聞き取れるようになり、自分の伝えたいことが話せるようになっていきました。徐々に自分の英語が上達していることにとっても喜びを感じました。授業最後の日にはハワイ大学の先生にも上達したね、頑張ったねと褒めてもらうことができました。褒めてもらったことでさらに自信をつけることができましたし、さらに上達できるように努力していこうと思えました。私のように英語に自信がない人でも、英語漬けの毎日をお過ごしているうちに自然と英語に慣れてくると思います。英語に苦手意識を持っている人にも、是非怖がらずに留学に参加してみしてほしいと思います。



Summary

Riko Nakamura

Exposure to Different Values

One of the best things about participating in the study abroad program was that I was exposed to different values from those in Japan. My homeroom teacher at the University of Hawaii was a very free-spirited person who taught classes while eating snacks and fruit and even took classes outside for a change of pace. I was very surprised by this freedom. In Japan, if students eat something during class, he or she must be scolded, and it is unthinkable for a teacher to do so. Also, I have never seen a teacher who teaches outside because he or she is bored with teaching in a classroom. At first, I could not understand the teacher's behavior, which is unthinkable in Japan, but as I watched, I began to think that this was not a bad thing since the class was progressing well and was not falling behind the other classes. I did some research and found that in the U.S., eating and drinking during class is often allowed. Also, it seemed that more and more schools in the U.S. were holding classes outdoors these days. At one school, a class was suddenly changed to a dinner party, and at another school, students sat in a hammock in the forest while attending class. I thought that school might be more enjoyable in Japan if students could have this kind of freedom during class. I also thought that life would be richer if people in Japan were able to live as they please and not just at school.



Building Self-Confidence

The second good thing about participating in the study abroad program was that I gained self-confidence. I was not a good English speaker, and I was very worried about whether my English skills would be good enough to study abroad. When I actually arrived in Hawaii, at first, I could not understand the local people's English very well, and I could not express what I wanted to say in English very well. This made me feel very frustrated and disappointed. However, my teachers, classmates, host family, and other local people were all very patient with my poor English. This helped ease my anxiety and gave me the courage to try my best to speak more fluently. From that point on, I made an effort to actively engage in conversation with local people. As I conversed with many people in English, little by little, my English listening ability improved, and I could say what I wanted to say. I felt very happy that my English was gradually improving. On the last day of class, I was praised by my teacher at the University of Hawaii for my progress and effort. The praise gave me even more confidence and made me want to work harder to improve even more. Even if you are not confident in English like me, I think you will naturally get used to English as you spend your days immersed in English. I would like to encourage those who are not good at English to participate in the study abroad program without fear.



Part Two. 北海学園大学経営学部の英語

北海経営 English (Hokkai Business English : HBE)

北海学園大学経営学部では、海外総合実習をはじめ、学生のみなさんが英語に触れ、英語を使う機会を様々な形で提供しています。このプログラム全体を北海経営 English (HBE) という総称でまとめ、入学時から卒業までの間を通して学生のみなさんの英語コミュニケーション能力の養成をサポートします。

英語の基本スキルを磨く1年次・2年次科目 (総合実践英語)

1・2年生を対象とした「総合実践英語」科目は、英語の4技能（読む、書く、聞く、話す力）をまんべん

く身につけることを目標に開講しています。1年次科目のリーディング&ライティング・ストラテジー A（第1学期開講）とコミュニケーション・ストラテジー A（第2学期開講）は全員が履修し、週に2回英語の授業を受けることで、社会に出たときに必要な最低限の英語力をつけることを目指します。

2年生向けに提供されている科目はすべて選択科目となり、ひとりひとりの学生が自分の興味関心や必要性に応じて好きなクラスを組み合わせて履修することが可能です。



英語でディスカッションをする様子（リーディング&ライティング・ストラテジー A）



自分たちで考案したオリジナル製品のポスター発表をする様子（コミュニケーション・ストラテジー B）

英語の専門スキルを養う3年次科目 (ビジネス英語)

「総合実践英語」科目を履修して英語力を培った学生は、3年次以降に「ビジネス英語」科目を履修すること

で、卒業後にビジネス・パーソンとして使える英語を身につけることを目指します。経営学部生として自分のキャリアを考え、そこで必要となる英語スキルを身につけるために自由に科目を選択することができます。

総合実践英語の科目構成

1年次	リーディング&ライティング・ストラテジー A コミュニケーション・ストラテジー A	第1学期 (週2回) 第2学期 (週2回)
2年次	リーディング・ストラテジー B I、B II ライティング・ストラテジー B I、B II コミュニケーション・ストラテジー B I、B II	第1学期、第2学期 第1学期、第2学期 第1学期、第2学期

ビジネス英語の科目構成

3年次	ビジネス・ライティング	第1学期
	ビジネス・コミュニケーション	第1学期
	ディスカッション・スキル	第1学期
	ビジネス・プレゼンテーション	第2学期
	ビジネス・リーディング	第2学期
	ビジネス・ディスカッション	第2学期

英語教員紹介

北海学園大学経営学部の英語教育は、主に4名の専任教員によって運営されています。

石井晴子教授

総合実践英語・ビジネス英語担当
2023年度海外総合実習事前・事後指導担当



内藤永教授

総合実践英語・ビジネス英語担当
2023年度英語演習Ⅱ担当



松根マーク教授

総合実践英語担当



浦野研教授

総合実践英語・ビジネス英語担当
2023年度英語演習Ⅰ担当
2023年度海外総合実習担当



英語演習（内藤ゼミ）

内藤ゼミでは、グローバルビジネス人材の育成という大きな目標を掲げ、様々な活動を行っています。近年はコロナ禍で海外渡航が難しかったため、海外に行くことはかなり限定されていましたが、北海道に居ながらグローバルな視点を身に着ける努力をしました。ゼミ活動は、各学年の全体活動と、ゼミ生の個人活動に大きく分けることができます。順に紹介したいと思います。

全体活動

現役のゼミ生、ゼミの卒業生がLINEグループを使って、最新の時事を共有し、考えを共有する『メルマガ』を継続しています。卒業するまでに200本以上の投稿をすることで、思考力を磨いています。また、ゼミの授業時間内では、学生の希望に応じて、思考力や幅広い視野を身に付ける読書活動を行っています。数年がけのプロジェクトとしては、北海道で貿易事業や国際交流を手掛ける事業所をまとめる北海道版グローバル業界地図『こんパス』（北海道を象徴する北キツネと、羅針盤を意味するコンパスから命名）を作成しています。これらの活動については、ゼミ活動報告書としてまとめています。

個人活動

2023年度の個人活動としては、アイスクリームの卸売りの起業準備、京都大学大学院生と哲学書の読書会、北海学園大学学内インターンシップHGUSOSの運営、ジョブヨク（職欲の未来）の企画運営など幅広い活動を行い、そのノウハウをゼミ内で共有することを行いました。

ゼミ生の主な業績

- ・2016年度～2017年度北広島市学生地域活動支援事業で、台湾・ベトナム調査、菓子店「安寿真」と新商品「ドラロン」を共同開発、三井アウトレットパーク札幌北広島で音楽フェスティバルMuSiCを開催。
- ・2017年度文部科学省トビタテ！留学JAPAN第6期生として永井沙采がタイで実習。
- ・2022年度ISFJ日本政策学生会議・政策フォーラムで斎藤友音、佐藤大河、寶嶋響子の『カムイ政策—エゾシカの循環で、次世代に繋がる豊かな北海道の文化を創造する』が地方創成部門で分科会賞を受賞。
- ・2023年度寶嶋響子（2023）「ロシア極東中古車市場における日本車の優位性—5フォース分析による港湾への影響—」『港湾経済研究』第61号（査読付）に掲載。
- ・2024年度外務省日本語パートナーズ派遣事業で大屋沙緒がタイで実習。



内藤ゼミ4期生・ゼミコンパの後に大通公園にて

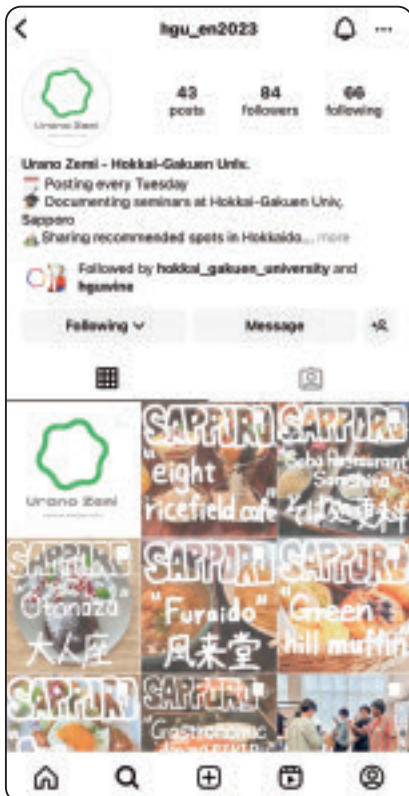
英語演習 (浦野ゼミ)

隔年開講の浦野ゼミは、(1) 英語力の向上を目指し、(2) 卒業後の人生に英語を結びつけることを考え、(3) 自律的に行動することを重視しています。自律性を大切にしているので、ゼミでの活動内容は基本的にゼミ生が自分たちで考え、話し合っで決定します。毎週のゼミでの活動の他、勉強会やイベント等教室外で行う自主的な活動、長期休業中の海外研修などをこれまで行ってきました。

4期生(2023年度～)は、コロナ禍を超えて、オンラインと対面両方でどのような情報発信や交流ができるかを考えています。

SNS を活用した情報発信

浦野ゼミ4期生は、Instagramを中心にSNSで情報



浦野ゼミ Instagram アカウント
https://www.instagram.com/hgu_en2023/

発信を行っています。札幌市を中心とした飲食店に足を運び、自分たちの気に入った店の紹介を日本語と英語で行っています。また、訪問した飲食店のいくつかで店内メニューの英語化のお手伝いもしてきました。

英語を使った交流

浦野ゼミでは、大学の外に出での交流も行っています。2023年度は大学近くの児童会館を訪問し、ハロウィーンなどいくつかのイベントで小学生が英語を使って遊ぶ機会を提供しました。



児童会館でのハロウィーン・イベントのための飾り付けを作成する様子

また、札幌留学生交流センターにて、地域の方々や留学生を対象にした交流イベントを開催しました。けん玉や竹とんぼ、メンコ、折り紙など日本の文化を体験できるブースを作り、留学生交流センターにお住まいの有志の方々にはダンスや歌を披露していただき、異文化交流を行うことができました。



留学生交流センターでのイベントの様子



北海学園大学 経営学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

地下鉄東豊線「学園前」駅3番出口直結（札幌駅より6分）

TEL.(011)841-1161(代)

経営学部ホームページ <https://ba.hgu.jp>